

オロロジカル・マシン No.3 フロッグ

MB&F が新たにオロロジカル・マシン No.3 フロッグを発表する。高級腕時計の世界は（通常は）非常に控えめで厳格なビジネスだが、MB&F の設立においてマキシミアン・ブッサーが目指したのは、高級時計製作に子供のような感動と遊び心を取り入れることだった。HM3 シリーズで MB&F がその目的以上のことを成し遂げたのは確かだ。

実際の両生類のカエルの突き出た目は、頭を動かすことなくさまざまな方向のものを見ることを可能にしているが、時間と分を表示する HM3 の球状のドームも同様の効果を生み出している。この時計の場合は、つけた人物が手首を返さずにどの角度からでも時間を見ることができるように作られているのだ。

このサイズと形のドームを回転させる上で、MB&F は数多くの技術的問題に直面した。時表示と分表示のドームは、理想的な強度重量比を持つアルミニウムの塊を加工してつくられた。ドームの重量はわずか 0.5 グラム強。0.28mm という紙のような薄さになるまで初めは外側から、そして内側から削り、必要とするエネルギーを最小限に抑えた。

半球状のサファイアクリスタルドームの製作も困難を極めた。この技術が可能になったのは、ようやく最近のことだ。サファイアに少しでも欠陥があれば、文字がきれいに拡大表示されないため、サファイアは完璧なまでに均一に形作り、磨かなければならなかった。

遊び心あふれるかたちで時間を示すフロッグだが、ジャン＝マルク・ヴィダーレヒト設計によるハイチューンエンジンの細かな手仕上げには、細部にわたって厳格かつ細心の注意が払われた。ケースを注意深く見ると、ドームの周囲に刻まれた数字の 8 にディスプレイ背面が映り、二重のセラミックベアリングが露わになったり、特徴的なクローバーの形をしたスクリューがあしらわれていたり、読みやすい日付表示を指し示す矢印が控えめに刻まれていたり、慎重に考え抜かれたディテールが見て取れる。

HM3 フロッグ Ti は 22 K ブルーゴールド PVD バトル・アックス型巻き上げローターを備えたグレード 5 チタンケース。

HM3 ポイズン・ダート・フロッグ は The Hour Glass のためだけに制作された 10 個の限定品で、ブラック PVD コーティングを施したジルコニウムケースに 22K ゴールドローターと 18K イエローゴールドスクリューの仕様。

HM3 ファイアー・フロッグ は HM3 ファイアー・フロッグは 10 個の限定品で、18K レッドゴールドおよびチタンケースに 22K ゴールドローターと 18K イエローゴールドスクリューの仕様。

HM3 フロッグ：結論に飛びつくな

オロロジカル・マシン No.3 フロッグ 技術仕様

ムーブメント：

アジェノー社のジャン＝マルク・ヴィダーレヒト設計による3次元オロロジカルエンジン
ソーウィンド (Sowind) 社製ベース

28,800bphでのバランス発振

22金レッドゴールドバトル・アックス型「ミステリー」自動巻きローター

HM3 フロッグ Ti : 22K ゴールドにブルーのPVDコーティング

HM3 ポイズン・ダート・フロッグ : 22K ゴールド

HM3 ファイアー・フロッグ : 22K ゴールド

時分情報はセラミックボールベアリング経由で回転ドームへと伝わる。

石数 : 36 (すべて機能上のもの)

部品数 : 304

機能：

一方のドームには時表示 (12時間で1回転するアルミニウムドーム)

もう一方のドームには分表示 (60分で1回転するアルミニウムドーム)

ムーブメントの周囲に日付表示

ケース：

HM3 フロッグ Ti : グレード5チタンケースおよびスクリュー

HM3 ポイズン・ダート・フロッグ : ブラック PVD コーティングを施したジルコニウムケース、
18Kイエローゴールドスクリュー、10個の限定生産。

HM3 ファイアー・フロッグ : 18K レッドゴールドおよびチタンケース、18K レッドゴールド
スクリュー、10個の限定生産

スクリューダウン式竜頭

寸法 (竜頭および突起部分を除く) : 47mm x 50mm x 18mm

ケース部品数 : 53

サファイアクリスタル：

ドームと両方のディスプレイ背面には両面反射防止加工

文字盤：

回転式アルミニウムドーム、0.58g、固定針

ストラップおよび留め金：

18K ゴールドをあしらった黒の手縫いのワニ革製ストラップおよびカスタムデザインのチタン製デベロップメントバックル

For further information, please contact:

Charris Yadigaroglou, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH -1204 Geneva, Switzerland

Email: cy@mbandf.com Tel.: +41 22 508 10 33

オロジカル・マシン No.3 を創った「フレンズ」たち

コンセプト： マキシミリアン・ブッサー／MB&F

製品デザイン： エリック・ジルー／エリック・ジルー・デザイン・スタジオ

技術・製造管理： セルジュ・クリクノフ／MB&F

研究・開発： ギヨーム・テヴナン／MB&F

ムーブメント開発： ジャン＝マルク・ヴィダーレヒト／アジェノー、
ニコラス・シュタルダー／アジェノー

ムーブメントベース：ラファエル・アッカーマン、スティーブ・ストゥーチオ、
ステファノ・マカルーソ／ソーウィンド (Sowind)

ムーブメント製造： ジョルジュ・オウアー／メカウオッチ、
サルヴァトーレ・フェラロット／APR Quality

ムーブメント部品手仕上げ： ジャック・アドリアン／CL ロシヤ
デニス・ガルシア／CL ロシヤ

セラミックボールベアリング： パトリス・パリエッティ／MPS

ムーブメント組み立て： ディディエ・デュマス、ジョルジュ・ベジー、アレクサンドル・ボネ、
ベルトラン・サゴラン＝ケロール／MB&F

ケース、留め金の構成および製造： ドミニク・メニエ、
ベルトラン・ジュネ／G.F シャトゥラン

サファイアパーツ： マルティン・ステットラー／ステットラー・サファイア

文字盤： フランソワ・ベルンハルト、デニス・パレル／ネイトバー

ベルト： オリビエ・プルノ／カミーユ・フルネ

化粧箱： フレデリック・ルジャンドル／レコーニ、イザベル・ヴォドー／ヴォドー

製造ロジスティクス： デービッド・ラミー／MB&F

コミュニケーション：

MB&F： シャリス・ヤディガログル、パトリシア・デュヴィラル、
エレノア・ピッチオット、エルヴェ・エステイアン

グラフィック・デザイン： ジェラルド・ムリエール、
アンソニー・フランクリン／GVA スタジオ

MB&F

HOROLOGICAL LAB

製品撮影： マーテン・ファン・デル・エンデ

「フレンズ」撮影： レジス・ゴレ／Federal

ウェブ開発： ステファン・バレ、ギヨーム・シュミッツ／スモーク・インタラクティブ

テキスト： イアン・スケレーン

For further information, please contact:

Charris Yadigaroglou, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH -1204 Geneva , Switzerland

Email: cy@mbandf.com Tel. : +41 22 508 10 33

MB&F — コンセプト・ラボの起源

時計のトップブランドをマネジメントした 15 年間、マキシミリアン・ブッサーに最高の喜びと達成感を与えてくれたプロジェクトは、才能溢れる独立時計師との共同作業であった。その中ではっきりと見えてきたブッサーの独自の理想郷。それは自身が尊敬し、仕事を共にして楽しかった才能あるプロフェッショナル達と型破りなコンセプトを持つ小規模な腕時計シリーズの設計・制作に専念できる会社の設立であった。企業家としての一面も持つブッサーはその理想郷を現実のものとした。

MB&F は腕時計のブランドではなく、マイクロ・エンジニアリングをコンセプトにした芸術的な研究所であり、斬新なオロロジカル・マシーンを設計・制作するために毎年召集される独立した時計のプロ集団である。伝統を重んじながらもそれに縛られることのない MB&F は、伝統的で高品質な時計作りに最先端技術やアバンギャルドな立体彫刻を融合させる媒体となっている。

MB&F の初のタイムピース HM1 (オロロジカル・マシーン No.1) は 2007 年に送り出され、三次元構造の時計というコンセプトが世に出された。これに続いた 2008 年の HM2、2009 年の HM3 はどちらも SF 作品から着想を得ていた。2010 年には HM4 サンダーボルトを迎え、多くの人がこれまでの MB&F で最も斬新なマシーンであるとした。

2011 年、レガシーマシーン No. 1 は伝統にインスパイアされた新たなラインとして華々しく登場した。

独立した人たちのために創作する独立した集団。それが MB&F である。

マキシミリアン・ブッサー — 経歴

イタリアのミラノで生まれたマキシミリアン・ブッサーは、その後、間もなくしてスイスのローザンヌへ移り住み、そこで青年時代を過ごす。多文化な環境と家族の中で育ったため—父親はスイスの外交官で、インド国籍の彼の母親とボンベイで出会っている—ブッサーは自身の人生とビジネスに対し異文化的な幅広いアプローチを取るようになった。

2005 年 7 月、38 歳の時に世界初となる時計のコンセプトブランド、MB&F (マキシミリアン・ブッサー & フレンズ) を設立。設立当初は自身が唯一の株主であったが、現在はセルゲ・クリクノフをパートナーに迎えている。気の合う仲間で構成された少数のハイパークリエイティブなグループで協力し、型破りな時計のコンセプトの開発に専念できる自身のブランド。それが、ブッサーが MB&F に抱く夢である。MB&F は 2006 年に最初の時計、オロロジカル・マシーン No.1 (HM1) を発表して以来、2007 年には HM2、そして 2008 年には HM3 を発表しており、現在もより型破りな「マシーン」を開発中である。

企業活動はマキシミリアン・ブッサーの得意分野である。1998 年、彼は弱冠 31 歳でジュネーブにあるハリー・ウィンストン レア・タイムピース社のマネージング・ディレクターに任命さ

MB&F

HOROLOGICAL LAB

れた。7年間の任期中、戦略、製品、マーケティング、そして世界規模の流通を開拓すると同時に、デザイン、研究開発、製造を社内で統合し、ハリー・ウィンストンを広く認められた

本格的な高級時計ブランドへと成長させた。その結果、売り上げは 900%増加し、ハリー・ウィンストンは競争が厳しいこの業界のリーダーの一員となった。

マキシミリアン・ブッサーの最高級時計への愛着は、彼の最初の職場となるジャガー・ルクルト (JLC) で確立された。1990年代に彼がシニア・マネージメント・チームに在籍し、製品管理・開発からヨーロッパ地域の販売及びマーケティングに至るまでを担当していた7年間で、JLCはその地位を大きく向上させ、売り上げを10倍に伸ばした。

ブッサーは1991年にスイス連邦工科大学ローザンヌ校のマイクロ・テクノロジー・エンジニアリングの修士課程を卒業している。